

No.	報告受領日	一般名	患者 性別	年 代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業投与前 検査	企業投与後 検査	受血者個別 NAT	献血者個別NAT	備考
12	2007/5/25	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	80	腎・泌尿器系疾患	B型肝炎	06/10	HBsAg(-) (06/08)	HBV-DNA(+) (07/04) HBsAg(+) HBsAg(+) HBsAb(-) IgM+HBcAb(-) (07/05)	-	HBV-DNA(+) (07/04) (07/05)	陰性(輸血 後)	保管検体(個別 NAT)HBV-DNA 陽性(選及調査 対象) (06/09) HBsAb陽性(陽 転献血) 個別HBV-NAT 陰性 (07/04)	※選及調査判明事例 ウイルスの解析:患者検体と献血者 検体とでPreS/S領域を含むP領域の 前半部の1550bpの塩基配列を比較 したところ、患者検体で1箇所、献血 者検体で2箇所塩基の共存があり、 共存箇所では他方でそのうちの1塩 基が存在していた。その他の箇所 は、全て一致した。献血者と患者のH BウイルスはGenotype Cで塩基配列 からSubtypeはadrと推定した。
13	2007/5/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	90	循環器疾患	O型肝炎	07/01	HCV-Ab(-) (07/01)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (07/05)	HCV-Ab(-) HCV-RNA(-) (07/01)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (07/05)	陰性(輸血 前) 陰性(輸血 後)	保管検体3本全 てHCV-RNA(-)	
14	2007/5/30	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	循環器疾患	B型肝炎	06/07	HBsAg(-) HBsAb(-) (06/08)	HBsAb(+) IgM+HBcAb(+) (07/03)	HBsAb(-) (06/07)	HBV-DNA(-) (07/07)	陰性(輸血 後)	保管検体(個別 NAT)HBV-DNA 陽性(選及調査 対象) (06/08) スクリーニング NAT(HBV)陽性 (陽転献血) (07/01)	※選及調査判明事例 ※患者検体とHBV-DNA陽性保管検 体のHBV塩基配列の相同性につい ては、輸血後患者検体がHBV-DNA 陰性のため調査できず。
15	2007/6/6	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	70	外傷・整形外科的疾 患等	B型肝炎	07/01	-	HBsAg(-) (07/01) HBsAg(+) IgM+HBcAb(-) HBsAg(+) (07/03)	-	HBV-DNA(+) (07/05)	陰性(輸血 後)	保管検体(個別 NAT)HBV-DNA 陰性 (選及調査対象) (07/01) スクリーニング NAT(HBV)陽性 (陽転献血) (07/01) <追加> 保管検体2本に ついて実施。(全 てHBV- DNA(-))	※選及調査判明事例 ※献血者検体(次回献血時:HBV- DNA陽性)と患者検体とでPreS/S領 域を含むP領域の前半部の1550bpの 塩基配列を比較したところ、患者検 体で1箇所塩基の共存があり、共 存箇所では献血者検体でそのうちの 1塩基が存在していた。その他の箇 所は全て一致した。献血者と患者の HBウイルスはGenotype Cで塩基配 列からSubtypeはadrと推定した。